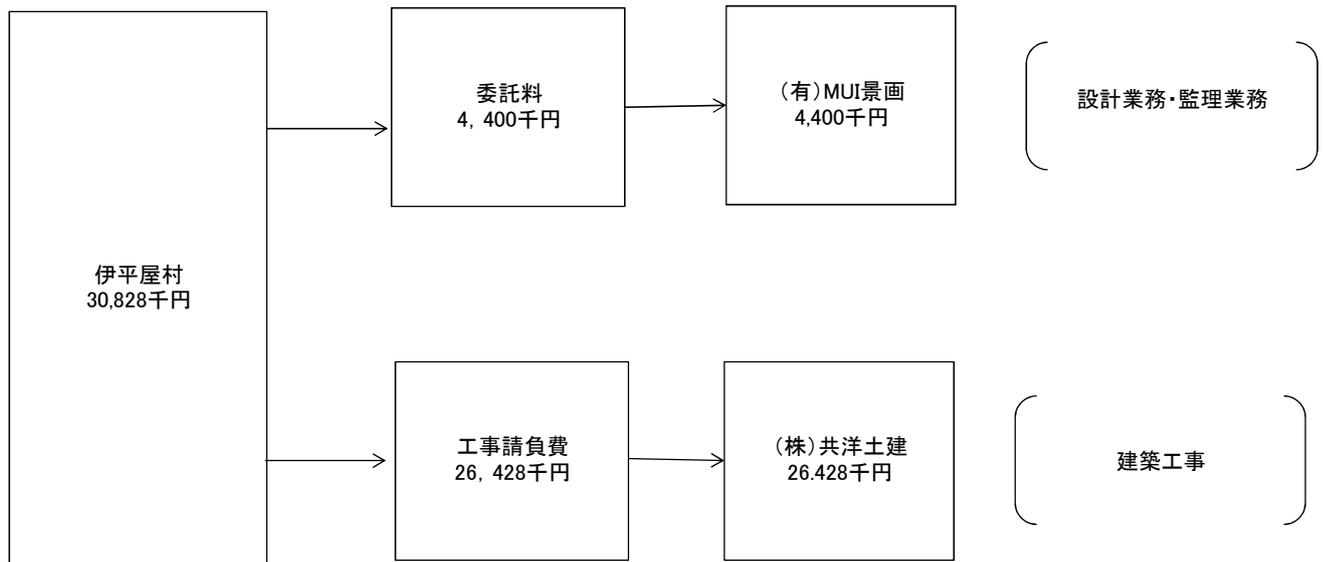


市町村名		伊平屋村					
平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤		公園修景等整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
	担当部課名	建設課		事業実施(予定)年度	平成28~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備
事業内容		国指定を受けた念頭平松を中心とした、景観に配慮した、衛生施設(トイレ)、休憩施設の整備を行い、快適性、利便性の向上とともに観光地としてのイメージアップ、伊平屋らしい原風景の創出を図る。					Ⅲ-1-(1)
	効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	R1年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,000	25,786	-		
		(b) 予算現額	5,999	30,828	-		
		(c) 増減額(b-a)	▲1	5,042	-		
		(d) 繰越額	-	0	18,257		
		A. 計(b+d)	5,999	30,828	18,257		
	B. 執行済額		5,999	12,571	18,257		
	うち交付金充当額		0	10,056	14,606		
	次年度繰越額		0	18,257	0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	40.8%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		念頭平松公園トイレ建築工事において、基礎地盤の載荷試験にて地耐力が基準を下回っており、基礎形状の変更及び地盤改良の検討が必要となったことから、18,257千円を30年度に繰越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	・トイレ建設工事実施	目標	()	(建築工事実施)	()	()	
		実績		建築工事の実施			
	・防風林植栽の調査実施設計実施	目標	()	(防風林植栽の調査実施設計実施)	()	()	
		実績		防風林植栽の調査実施設計実施			
	・既存施設改修実施設計(広場・敷地・防風緑陰・東屋・倉庫・防火水槽)完了	目標	(実施設計の実施)	(実施設計の実施)	()	()	
実績		実施設計完了	実施設計の実施				
達成状況	基礎地盤の耐久力が基準値を下回っていたため、基礎形状の変更及び地盤改良の検討が必要となり繰越となったが、実施設計・建築工事を計画通り実施し目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(R3年度)
	・トイレ建設工事完了	目標			(建築工事完了)	()	()
		実績			建築工事の完了		
	・防風林植栽の調査実施設計実施	目標			防風林植栽の調査実施設計完了	()	()
		実績			防風林植栽の調査実施設計完了		
	・既存施設改修実施設計(広場・敷地・防風緑陰・東屋・倉庫・防火水槽)完了	目標		(実施設計の完了)	(実施設計の完了)	()	()
		実績		実施設計の完了	実施設計の完了		
進捗状況	【R3成果目標】 利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方についてアンケート調査により検証する。						
進捗状況	上記活動目標に記載の通り、30年度に繰越となったが、実施設計・建築工事を完成することができた。 ・既存施設改修実施設計 平成30年8月完了 ・トイレ建築工事 平成30年7月完成 ・防風林植栽の調査設計に関しては既存施設改修実施設計と一つの設計に変更した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>(トイレ建設工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎地盤の耐久力が基準値を下回っていたため、基礎形状の変更及び地盤改良の検討が必要となり繰越となってしまったが、計画通り工事を完了することができた。 <p>(防風林植栽の調査実施設計)</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存施設改修実施設計と一つの設計に変更した。 <p>(既存施設改修実施設計)</p> <ul style="list-style-type: none"> 防風林植栽の調査実施設計も含め設計を行ったが、計画通り既存施設改修及び周辺環境整備について設計を行った。 また既存施設については、再利用等について検討を行う必要がある。 	<p>(トイレ建設工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎形状の変更、地盤改良の検討が必要となり、繰越となったが、関係機関と連携し基礎の構造変更や工法の検討を行い、計画通り工事を完了することができたため、改善の必要はないものとする。 <p>(防風林植栽の調査実施設計)</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑陰機能や防風機能を重視しつつ、景観計画とあわせるため既存施設改修設計の周辺環境と一緒に含め検討を行えたため、改善の必要はないものとする。 <p>(既存施設改修実施設計)</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存施設の再利用等について、関係機関および地域住民等からの意見を参考に、方針を検討する。
今後の取り組み方針		
関係機関及び地域住民の意見を踏まえ、決定した方針に沿って、速やかに整備着手する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
33,124	30,828	24,662	6,166	2,296

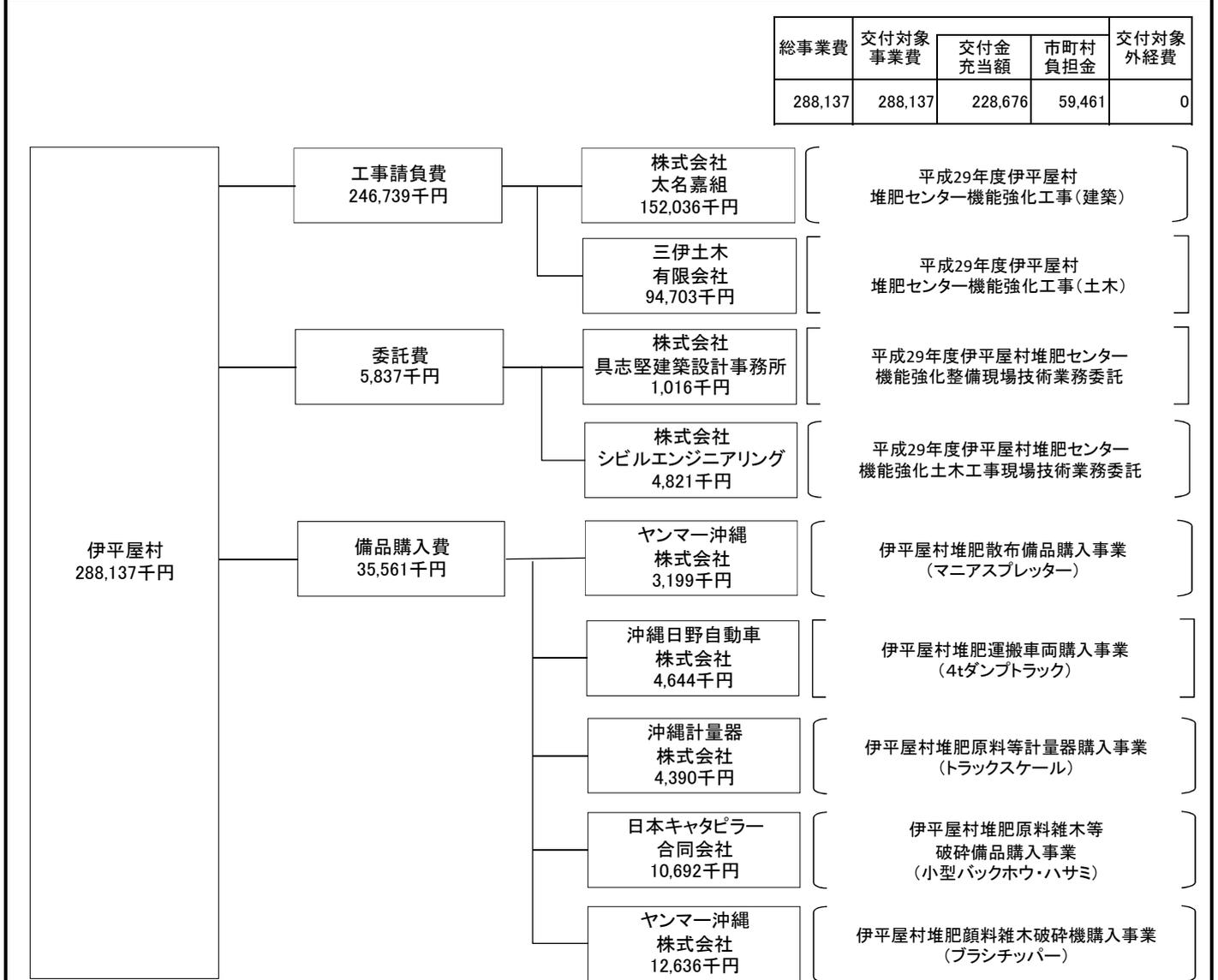


資金の流 れ、費 目 ・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模においては、見積による設計数量の最低値及び最低額を採用し委託技術者単価及び沖縄県土木設計業務積算基準に基づき積算したことから適正であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなので適正である。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊平屋村				
平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	2-③	伊平屋村農業用資材(堆肥)供給施設機能強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ウ	
担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成28~30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産物の安全・安心の確立 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	本村農業振興発展を目的とし、安定した良質の堆肥生産及び供給を図るため、堆肥供給施設機能強化、製造に係る各種備品の導入を行う。					
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H29年度(繰越)		
		(a)当初予算額	70,000	285,846		
		(b)予算現額	10,803	288,137		
		(c)増減額(b-a)	▲ 59,197	2,291	0	
		(d)繰越額	0	0	198,605	
		A. 計(b+d)	10,803	288,137	198,605	
		B. 執行済額	10,803	89,532	198,605	
		うち交付金充当額	8,642	71,626	157,050	
		次年度繰越額	0	198,605	0	
		執行率(%) (B/A)	100.0%	31.1%	100.0%	
予算の状況の説明		当初計画より資材費の及び労務費単価等の上昇により、実施内容を見直したことから、予算額を2,291千円増額した。また、建設現場の土砂および倒木の撤去に不測の日数を要したことから198,605千円を30年度に繰り越した。				
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況			
			H28年度	H29年度		
	堆肥センター機能強化工事実施	目標	(実施測量設計業務の発注)	(堆肥センター機能強化工事完了)	()	()
		実績	実施測量設計業務の発注	実施済		
	堆肥センター施設備品購入実施	目標	()	(堆肥センター施設備品購入実施)	()	()
		実績		実施済		
	堆肥センター機能強化工事管理業務の委託	目標	()	(堆肥センター機能強化工事管理業務の委託)	()	()
実績			実施済			
達成状況説明	建設現場の土砂および倒木の撤去に不測の日数を要し30年度に繰越となったが、堆肥センター機能強化工事及び施設備品購入、工事管理業務委託について、計画通り実施し目標を達成した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(H27年度)	H28年度	H29年度	目標値(R3年度)
	堆肥センター機能強化工事完了	目標	()	(実施測量設計業務の完了)	(堆肥センター機能強化工事完了)	()
		実績		実施測量設計業務の完了	堆肥センター機能強化工事発注	
	堆肥センター施設備品購入の完了	目標	()	()	(堆肥センター施設備品購入の完了)	()
		実績			未完了	
	堆肥センター機能強化工事管理業務の完了	目標	()	()	(堆肥センター機能強化工事管理業務の完了)	()
		実績			堆肥センター機能強化工事管理業務の発注	
【R3成果目標】 堆肥生産量 857t		目標	()	()	()	(857t)
進捗状況説明	上記活動目標に記載の通り、30年度に繰越となったが、堆肥センター機能強化工事及び施設備品購入、工事管理業務委託について、成果目標のとおり完了し達成した。 ・機能強化工事 平成30年12月完了 ・機能強化工事管理業務 平成30年10月完了 ・施設備品購入事業 平成31年2月完了					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(堆肥センター機能強化工事) ・資材費の及び労務費単価等の上昇により、実施内容の見直しが必要となり、日数を要した。 ・堆肥センターの整備が整ったことから、今後は安定した堆肥生産及び供給に向けて取り組む必要がある。 (堆肥センター施設整備備品購入) ・機能強化工事の遅れにより、30年度繰越となったが、計画通り備品購入を完了できた。 (堆肥センター機能強化工事管理業務) ・土砂および倒木の撤去に不測の日数を要し、工期変更となったが計画通り完了できた。	(堆肥センター機能強化工事) ・社会情勢(資材高騰や労働単価上昇)や村内の工事の現状等を把握するため、関係機関と連携し適正な単価設定を行えるよう調整する。 ・堆肥センターの施設整備が整ったことから、生産及び供給についての年間活動計画を検討し、安定した堆肥生産・安定した堆肥供給に繋げる。 (堆肥センター施設整備備品購入) ・機能強化工事の遅れにより、発注時期が遅れてしまったが、工事終了後早急な対応により、計画通り備品購入を完了できたため、改善の必要はないものと考えられる。 (堆肥センター機能強化工事管理業務) ・各業者の問題点について、工程会議等を開催し適正な工程管理に繋げる。
今後の取り組み方針		
・単価設定については関係機関と連携し、社会情勢(資材高騰や労働単価上昇)や村内の工事の現状等を把握することで、適正な設定が行えるよう努める。 ・生産及び供給について、年間活動計画を策定し、計画に沿って安定した堆肥生産・安定した堆肥供給に取り組む。 ・全体工程会議等の実施により、適切な工程管理を行い事業を推進するよう努める。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れの点 検・費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法については、指名競争入札により決定しているため、妥当である。 ○予算規模については、事業内容に見合うものとする。 ○費目、使途については事業目的にのみ限定したことから妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊平屋村					
平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④	新伊平屋村製糖工場建設工事		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-(12)-イ		
担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成29年～令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の振興		
事業内容	伊平屋村の製糖工場は、沖縄含蜜工場(8工場)の中でも最も古い施設で移設して52年が経過している為、建物の腐食や老朽化が著しく品質低下の恐れがある。平成29年度より沖縄含蜜糖施設近代化事業で建物・設備設計を実施し、それに併用して、沖縄県振興特別推進交付金(特別枠)を活用して施設整備を行い工場の機能向上とさとうきび振興の強化を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	R1年度		
		(a)当初予算額	201,153				
		(b)予算現額	201,153				
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	
		(d)繰越額	-	136,336			
		A.計(b+d)	201,153	136,365	0	0	
		B.執行済額	64,788	136,365			
		うち交付金充当額	51,830	109,092			
		次年度繰越額	136,365	0			
		執行率(%) (B/A)	32.2%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		建設工事において、本体建築設計と機械設備設計で機械配置が決まらず、本体建築設計と機械設備設計において不測の日数を要したため、造成工事・外構設計において工期の見直しが必要となったことから、委託設計・工事に係る136,336千円を平成30年度に繰越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
	調査設計業務の発注	目標	(調査設計業務の発注・実施)	()	()	()	
		実績	調査設計業務実施				
	造成工事(一部)の発注	目標	(造成工事の発注・実施)	()	()	()	
		実績	造成工事実施				
	工事施工管理業務の委託	目標	(工事施工監理業務の委託)	()	()	()	
		実績	工事施工監理業務実施				
	施設用地の購入	目標	(施設用地の購入)	()	()	()	
		実績	施設用地の購入実施				
	況達説明状	平成29年度に建設予定地土地購入し、設計委託業務・工事実施・現場技術業務を実施し、平成30年度に完了した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R3年度)
	調査設計業務の完了	目標	()	(調査設計業務の完了)	()	()	()
		実績		調査設計業務完了			
	造成工事(一部)の完了	目標	()	(造成工事の完了)	()	()	()
		実績		造成工事完了			
	工事施工監理業務委託の完了	目標	()	(工事監理業務の完了)	()	()	()
		実績		工事監理業務完了			
	施設用地の購入完了	目標	()	(用地の購入完了)	()	()	()
		実績		用地の購入完了			
	【R3成果目標】 観光地として魅力的な景観であると感ずるか(80%以上)を含め、米崎海浜公園の景観形成のあり方についてアンケート調査により検証する。		目標	()	()	()	()
進捗状況説明	本体建築設計と機械設備設計において不測の日数を要し平成30年度に繰越となったが、計画通り調査設計・造成工事・施工監理・用地購入を完了し目標を達成した。 ・調査設計委託業務 平成30年8月完了 ・造成工事完了 平成31年3月完了 ・工事施工監理業務 平成30年4月完了 ・施設用地の購入 平成29年5月完了						

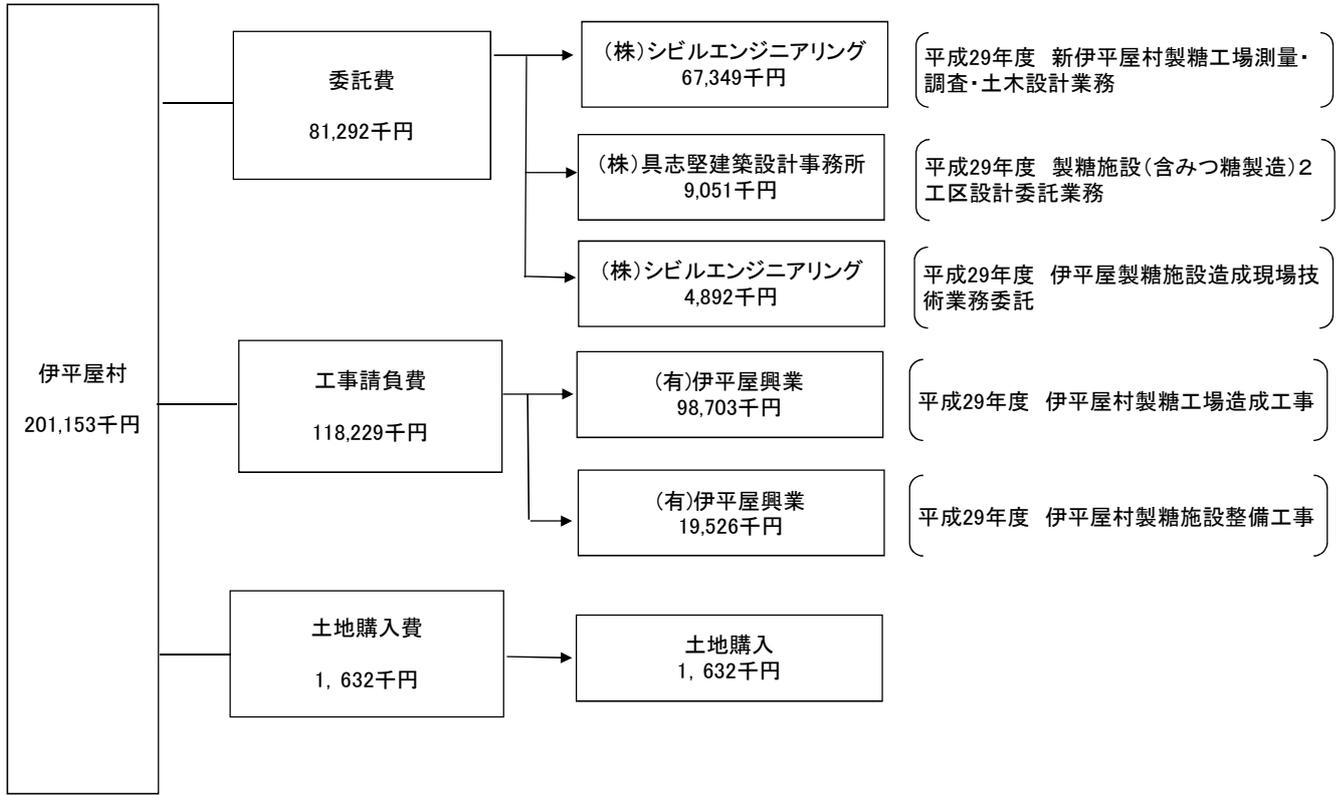
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(調査設計業務) ・本体建築設計・機械器具設置での設計変更にて不測の日数を要し、工事実施に影響を与えてしまった。 (造成工事) ・実施設計が遅れたため、後期の見直しを行った。また農業振興地域の除外・農地転用許可手続きに時間を要し工期が延長した。 (工事施工管理業務) ・造成工事工期延長に伴い工期の変更が必要となった。 (施設用地の購入) ・地権者の相続の手続きに時間を要したが、計画通り平成29年度で用地を購入した。	(調査設計業務) ・事業実施に伴い各業者の問題点について、工程会議等を開催し適正な工程管理を行う。 (造成工事) ・関係各所と連携し法律にのっとり計画的に処理を行う。また上記同様工程会議等を開催し適正な工程管理を行う。 (工事施工管理業務) ・上記同様記同様工程会議等を開催し適正な工程管理を行う。 (施設用地の購入) ・地権者への連絡を密に行い、早急な相続手続きを完了して用地購入する。

今後の取り組み方針

事業実施するに当たり、全体工程会議等の実施により、適切な工程管理を行い事業を推進する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
201,176	201,153	160,922	40,231	23



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法については、指名競争入札により決定しているため、妥当である。 ○予算規模については、事業内容に見合うものとする。 ○費用・用途については事業目的にのみ限定したことから妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	